



令和7年度「船上山トレッキング&ノルディックウォーク」実施報告書

※ノルディックウォークの部は応募者キャンセルで中止、トレッキングの部のみの開催

I 事業の概要

1 期 日 令和7年11月8日(土)

2 日 程

9:00	受付
9:30	出合いのつどい
10:00	登山【後醍醐天皇の足跡を巡るコース】 自然の家～森林鉄道跡～西坂コース ～船上神社～薄ヶ原～下山～展望台で豚汁 ～自然遊歩道・茶園原～自然の家
15:15	感想記入 感想提出後、解散



3 ねらい 秋の船上山登山を通して、自然と歴史に親しむ。

4 対 象 小中学生とその保護者および一般(未就学児を除く) 30名程度

5 応募者数 4組8名

6 当日参加者数 2組4名

※ノルディックウォークについては、応募者キャンセルにより参加者が0名となり中止となった。

7 参 加 費 1人1000円

II 実施状況

■11月8日(土) 天候 快晴

当日は天候に恵まれて快晴となった。大自然に囲まれた船上山の澄み渡った空気を感じながら、西坂コースの登山を開始した。

登山の途中は時計を見ながら、定期的に休憩をとって水分補給をした。また、船上山の歴史を説明する場所を決めておき、森林鉄道跡や後醍醐天皇などについて説明をした。

12時過ぎに船上神社に到着すると、神社への参拝をした。その後は頂上に到着した達成感の中、山頂での昼食を満喫していただいた。

昼食を終えると下山を開始した。日陰の場所は湿っていたためにすべりやすくなっていた。安全に下山するために、早く歩きすぎないように心がけた。



14時頃、東坂の登山道入口に到着し、展望台まで移動した。事前に豚汁を他の職員が準備していたので、そこで豚汁を食べていただいた。豚汁はとてもおいしく、何回かおかわりをされる方もおられた。アンケートにも「豚汁がおいしかった」というコメントが多かった。

15時過ぎに自然の家に帰着。感想記入をしていただき解散となった。アンケートを読むと参加者さんの満足度は高く、コメントからも「参加してよかった」という気持ちがくみ取れる内容だった。



以下に当日の指導員による解説内容を紹介する。

【鳥居】

- ・後醍醐天皇が船上山に来られる以前のころから、船上山は信仰の対象となっていた。
- ・「せんじょうさん」の「さん」は信仰の対象となっている山の呼び名である。県内には大山、三徳山、船上山が信仰の対象となっている。

【茶園原】

- ・茶、園という漢字からも分かるが、昔は茶園原周辺でお茶を栽培していた。

【茶園原奥側】

- ・(山頂を指しながら)「船上山」という名前の由来について、昔は「フナノエヤマ」と呼んでいた。「船をひっくり返した形で船が山にあるように見えたから」という説と、昔は「近くに流れる川を船に乗って山麓に登っていたから」という説がある。

【森林鉄道跡】

- ・昔は林業を営んでいた。木を枕木として使用するため、線路を設置してトロッコで運んでいた。線路は外されて整備され、現在は登山道として利用されている。

【西坂コース入口】

- ・後醍醐天皇は隠岐から脱出する際、出雲を目指していたが、流されて名和に着いた。名和長年一族により保護され、西坂コースを通過して頂上に登ったとされている。

【船上神社】

- ・船上神社の奥に後醍醐天皇が滞在していたという説がある。ただ、場所がはっきりしていないことから頂上付近を行宮としている。
- ・大スギは樹齢800年とも1000年とも言われている。幹の周囲は5.6mもある。
- ・一万円札のモデルの渋沢栄一は船上山史蹟保存会の顧問として船上神社の改修に携わった。

【行宮碑】

- ・行宮(あんぐう)とは天皇が外出して滞在していた場所を指す。



【東坂登山道 中腹】

- ・赤い実をたくさんつけた植物は「mamシグサ」。
- ・日本海が見えているが、隠岐の島も条件がそろえば見える。
- ・「山焼き」が実施されている年がある。

【東坂登山道 籠立て場】

- ・東坂コースは天皇が京に向かう際に使用した道のり。
- ・籠に乗って移動した際、この場で休憩をした。
- ・隠岐から逃げた天皇を追ってきた3000の兵を名和長年一族を中心とする100余りの兵で勝利することができた。80日間過ごした後醍醐天皇はこの場で休憩をした際、船上山に別れを告げたとされている。



Ⅲ 総 括

Ⅰ アンケート結果

《参加者の満足度》

(参加者2組)

- ① 事業全体の満足度：満足2組
- ② 登山の楽しさを感じることができた：満足2組
- ③ 同じような企画があればまた参加したい：満足2組
- ④ 施設的环境、職員の接する態度：満足2組

《参加者の感想》(抜粋)

- ・ 船上山に登って頂上で景色をたくさん見るのが楽しかったです。
- ・ 良い運動になりました。息子も楽しんでいました。
豚汁おいしかったです。
- ・ 船上山の歴史について知れました。疲れたけど頂上まで登れてよかったです。豚汁がおいしかったです。
- ・ 昨年に続いて参加しました。頂上はとても心によかったです。

2 成 果

- ・ 指導員の歴史や自然の解説が好評だった。
- ・ 豚汁が好評だった。
- ・ 熊スプレーの携帯や熊鈴等の準備、事前の下見によって参加者の安心安全に努めることができた。

3 課 題

- ・ 今回は晴れていたのですが外で昼食をとれたが、雨天となって山頂避難小屋の中でとる場合、参加者定員の30人が参加した場合は難しい。
- ・ 登山で歩いて登る速さについては、参加者の状況を確認しながら調整する必要がある。
- ・ 本年度は船上山周辺では熊を見たという情報がないが、今後も熊鈴や熊スプレーを準備するなど、注意を払う必要がある。

